

# KANSAI GAIDAI UNIVERSITY

## セクシュアル・マイノリティについての人権英語小辞典

メタデータ	言語: jpn 出版者: 関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部 公開日: 2016-09-05 キーワード (Ja): セクシュアル・マイノリティー, 性教育, 差別, 差別語, 言語改革 キーワード (En): 作成者: 加藤, 昌彦 メールアドレス: 所属: 関西外国語大学人権教育思想研究所
URL	<a href="https://doi.org/10.18956/00006013">https://doi.org/10.18956/00006013</a>

# セクシュアル・マイノリティについての人権英語小辞典

加藤 昌彦

## 要旨

セクシュアル・マイノリティについての最近の前進はめざましいものがあります。

現代、LGBTなど英語からきた言葉が非常に多く使われています。それらの言葉をはじめ、セクシュアリティの多様性、セクシュアル・マイノリティの人々の置かれている歴史と現実、そして人権確立の動きについて、現在、使用されている英単語をできるだけ紹介しようと努めました。これを通じて、セクシュアル・マイノリティの人々の正しい理解に資することを期しました。

**キーワード：**セクシュアル・マイノリティ、性教育、差別、差別語、言語改革

この辞典は abc 順ではなく、単語を 1) 概念・運動・法律、2) セクシュアル・オリエンテーション (性的指向)、3) トランス・ジェンダー、4) 性分化疾患などに分類し、近縁項目順に配置しました。引く辞典というより、読む辞典としました。

## 1. 概念・運動・法律

**sexual minority** **セクシュアル・マイノリティ** **性的少数者** 異性愛者以外の人々を総称している。①性的指向によるもの。同性愛・両性愛。②性的違和によるもの。体の性と心の性の異なる人、性同一性障がいなど。③性分化疾患などによるもの。一般には、LGBT (レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー) と言われることが多い。セクマイと略されることもある。近年、LGBTQ、LGBTI や LGBTIQ という言葉も登場し、使用されている。日本では、文部省が『生徒間の問題行動に関する基礎資料』(1979年)で、(同性愛は)「性非行」のひとつで、「異性愛の発達を阻害するおそれがあり、健全な社会道徳に反し、現代社会にあっても是認されるものではないであろう」と記していたが、1993年1月に、これを改めた。1991年、東京都の宿泊施設「府中青年の家」で同性愛者組織が施設の利用を拒絶された事件では、同組織が1997年に第2審で全面勝訴をし、セクシュアル・マイノリティの権利が裁判で認められた。2003年衆院選以降、「全国の主要都市の5割以上が、選

拳の投票所入場券の「男」「女」の性別表記を6年間やめていた」(2009年8月29日朝日夕刊)。2004年に「性同一性障害特例法」が施行され、日本のセクシュアル・マイノリティーにたいする初の法律となった。2005年に京都大学大学院医学研究科の日高庸晴客員研究者らが実施した、ゲイとバイセクシュアルの男性約6000人が回答した調査では、約半数が学校でいじめられ、3人に2人は自殺を考え、14%が自殺未遂経験があったと2007年に報告している。文部科学省は2010年には性同一性障害について、対応を徹底する「事務連絡」を学校に出した。また厚生労働省は「精神障害者保健福祉手帳」を変更して、2014年にも性別欄をなくす方針(2013年7月29日読売夕刊)。2013年9月、大阪市淀川区が「LGBT支援宣言」を発表した。日本のセクシュアル・マイノリティーは、2015年電通調査によれば、人口の7.6%という推計が発表されている。また、男女雇用機会均等法の改正により2014年7月から、セクシュアル・マイノリティーに対する差別的な言動もセクシュアル・ハラスメントに当たるとした。2015年3月には東京都渋谷区議会が全国初の同性パートナーシップ条例を制定した。文部科学省は2015年4月30日、セクシュアル・マイノリティーの子どもについて、配慮を求める通知を全国の国公私立の小中高校などに出した。2015年11月には、国立社会保障・人口問題研究所の研究グループが、同性同士の結婚法制化について、「賛成」「やや賛成」が51.1%になったとの調査結果を公表している。

**LGBT ; lesbian gay bisexual transgender 性的少数者** セクシュアル・マイノリティーの中では総合的な自称としてよく使用されている。L ; レズビアン、G ; ゲイ、B ; バイセクシュアル、T ; トランスジェンダーの頭文字から。

**LGBTQ ; lesbian gay bisexual transgender questioning/queer 性的少数者** LGBTにQ(クエスチョニング:迷っている人々と、クイア)をつけ加えたもの。アメリカではLGBTに代わって、この語が用いられている。

**LGBTI ; lesbian gay bisexual transgender intersex 性的少数者** LGBTにI(インターセックス)をつけ加えたもの。2000年代後半から日米で、この言葉が登場している。

**LGBTIQ ; lesbian gay bisexual transgender intersex questioning 性的少数者** LGBTにI(インターセックス)とQ(クエスチョニング:迷っている人々)をつけ加えたもの。

**queer 性的少数者** 元来 queer は侮蔑的ニュアンスの強い言葉だったが、1990年にテレサ・デ・ラウレティスがアメリカのカリフォルニア大学での研究会議で、クイアを初めて積極的に使用したのを嚆矢として、アメリカでLGBTの肯定的包括的自称として使われるようになった。

**queer theory クイア理論** gay lesbian studies から分岐した理論。1990年にテレサ・デ・ラウレティスがクイア概念を提唱。queer は「変態」を意味する蔑称語であったが、これを逆手にして、「普通」「異常」の全てのカテゴリーは、社会的に構築された概念で、異性愛中心

主義であり、異性愛・同性愛など二項対立的な思考であると批判した。この理論はセクシュアル・マイノリティー内部の差異を超えようとする理論でもある。「多様な性を生きる者が連帯するための画期的な理論として受け入れられた」(Wikipedia2015.11)

**queer studies** **クイア研究** 現在、アメリカの大学での教科名

**questioning** **クエスチョニング** 自身の性的立場が分からず、迷っている人。現代社会において男女二分に強制させられて、苦悶している人。

**sexuality** **セクシュアリティ** それぞれの人の性的な事柄、ありよう、立場、位置。

**sexuality bias** **セクシュアリティ・バイアス** セクシュアル・マイノリティーへの偏見。

**phallocentrism** **ファロセントリズム** **男根中心主義** **男性中心主義**

**Rainbow Flag** **レインボー・フラッグ** 虹色は性の多様性への理解と共感をしめす。1978年にアメリカのサンフランシスコのギルバード・ベイカーがデザインした。その後、改良が加えられ、2008年現在、赤 (sex: 性や愛)・橙 (power: 力・度量)・黄 (hope: 希望)・緑 (nature: 自然・ありのまま)・青 (liberty: 自由・自律)・紫 (art: 生活文化・芸術) の6色構成の旗となった。性的少数者の人としての尊厳と運動を象徴する旗。

**sexual gradation** **性のグラデーション** 現実のそれぞれの人の性のありようは、男女二項対立のような状態ではなく、グラデーション、程度差をもっている。たとえば、同性愛や異性愛には傾向と濃淡がある。

**sexual position** **性的位置** 新創語。人のセクシュアル・グラデーションの位置。多様な性のあり方がある中での、それぞれの人の位置。性的多数者、少数者を問わず、すべての人の中での位置を表現。すべての人は母親の胎内での受精(遺伝子)から胎児期、出生から死に至るまで、あらゆる段階で様々なホルモン状況、病気や事故、ストレス等の条件に遭遇する。それによって、遺伝子の違い、性的条件の違い(ホルモンの分泌の違い等)を生み出している。それによって、性的指向(性的な欲望が同性、あるいは異性、あるいは両性に向いていること)、性自認(自身を女性あるいは男性、あるいはどちらでもないと思うこと)、外性器・内性器の異なりなどを生み出している。一人ひとりの性的位置は、すべて異なり、またその人自身の過去と現在においてすら変化している。たとえば、ある男性が、事故に遭ったために、男性ホルモンの分泌が極端に減少し、そのために女性ホルモン分泌の割合が増えて、乳房がふくらんできた、ということがある。日々の条件によってすら、私たちは自分の意志によらずに、性的位置を変えつつづけている。

**sexology** **セクソロジー** **性科学** 人間らしい性を追求する学。「性の問題を自然科学——特に医学・生物学・生理学・遺伝学・解剖学など——の視点から研究する学問の総称」(『セクシュアリティ入門』による)

**sex education** **性教育** 性愛について、さまざまな性について、性の権利についての教育。

これまで脇と陰に追いやられてきたが、あらゆるところで学ばなければならない。

**sexual rights 性的権利** すべての人がもっているセクシュアリティについての権利。自身の性のあり方を自己決定する権利など。山本直英は『セクシュアル・ライツ——人類最後の人権』（明石書店1997年）の中で、次の7つを挙げている。①制度・慣習・役割からの性的自由権（Freedom from Systems）②性的自認の自由権（Freedom to Decide Individual Gender of Sexual Orientation）③性的行動の自己決定権（Freedom of Sexual Behavior）④性愛の自由権（Freedom to Love and Make Love）⑤リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 性と生殖に関する健康権（Reproductive Health Rights）⑥性に関する健康と環境権（Freedom from an Unhealthy Sexual Environment）⑦性の学習権（Freedom to Study Human Sexuality）。

**passing パッシング** 「生物学上の性とは違う人として社会に受け入れられること。」（『LGBTQってなに?』より）。「社会的に烙印を押されるような事実を知られないで過ごすこと」（『セクシュアル・マイノリティー入門』より）

**ally アライ** セクシュアル・マイノリティー当事者の運動における、非セクシュアル・マイノリティーの同行者。（執筆：瀬尾太歩人）ストレート・アライ straight ally の略。

**closet クローゼット** “closet” は押し入れのことであるが、セクシュアル・マイノリティーが社会において、自分を出せないでいる状態、もしくは隠している状態を比喻して用いられている。

**closed クローズド** セクシュアル・マイノリティーの人が当事者であることを隠している状態。closely などと使用されている。（執筆：瀬尾太歩人）

**open オープン** 自分がセクシュアル・マイノリティーであることを隠していない状態。openly などと使用されている。（執筆：瀬尾太歩人）

**out アウト** LGBTIQとしてオープンに暮らすこと。（『LGBTQってなに?』より）

**Declaration of Sexual Rights 性の権利宣言** 1999年8月26日に開催された第14回世界性科学学会総会において採択され、11項目からなる。「1. 性的自由への権利（The Right to Sexual Freedom）あらゆる性的な強要・搾取・虐待を排除した上で、個人の性的なポテンシャルの全てを表現する自由（可能性）を享受する権利。」「4. 性の平等への権利（The Right to Sexual Equality）性・ジェンダー・性的指向・年齢・人種・社会階層・宗教・心身の障害に関わらず、いかなる差別からも解放されること。」などを含んでいる。

**The Declaration of Montreal on Lesbian, Gay, Bisexual and Transgender Human Rights**

**モントリオール宣言** 2006年7月29日。カナダのモントリオールで100カ国2000人が集まった国際会議で採択されたセクシュアル・マイノリティーの人権に関する宣言。これは同年11月にジョグジャカルタ宣言へ結実した。

**The Yogyakarta Principles ; The Yogyakarta Principles on the Application of International Human Rights Law in Relation to Sexual Orientation and Gender Identity ジョグジャカルタ原則。性的指向並びに性自認に関連した国際人権法の適応上の**

**ジョグジャカルタ原則** 2006年11月、インドネシアのジョグジャカルタに、元国連人権委員会のメンバーや国際法律家委員会のメンバーが集い、セクシュアル・マイノリティーが直面すると考えられるあらゆる課題について、差別されることなく、権利を保障する原則を定めた。第18原則では「万人は性的指向や性自認により、医学的、心理的治療や臨床検査を強要されない。あらゆる分類（米精神医学会の「精神障害の診断と統計マニュアル」DSM- IVや、「国際疾病分類」ICD-10）の規定に拘わらず、個人の同性や両性への性的指向や身体とは異なる性自認は、それ自体は病気ではなく、その意識を治療されたり、抑圧されない」と定めた。2008年12月国連総会で、この原則を承認する「性的指向と性自認に基づいた人権侵害の根絶を呼び掛ける宣言」が読み上げられた。日本は宣伝発表をコーディネートする側にいた。2011年までに85か国が賛同している。（『性同一性障害 3・11を超えて』谷谷規子著参照）

**unisex public toilet (unisex toilet, unisex restroom) ,unisex bathroom,unisex lavatory,gender-neutral public toilet,gender-neutral washroom 共用トイレ・汎用トイレ・全人トイレ**（適訳がまだ創られていない）あらゆるセクシュアリティーの人が使用できるトイレ。飛行機や列車のトイレのように、空間節約性、便宜性、経済性がある。

## 2. セクシュアル・オリエンテーション（性的指向）

**sexual orientation セクシュアル・オリエンテーション 性的指向** その人自身の性愛の対象が異性に向いているか、同性に向いているか、両性に向いているか、そのどちらでもないかの方向性をしめす。指向の漢字が、嗜好・志向でないことに注意。

**homosexuality ホモセクシュアリティ 同性愛** 男性・女性同士の性愛。

**homosexual ホモセクシュアル 同性愛者** この語はチャールズ・ギルバート・チャドックによって創出された。オックスフォード英語辞典の1876年補遺で初めて登場。アラン・ブレイ『同性愛の社会史』（田口孝夫・山本雅男訳 彩流社 2013年）によれば、同性愛者ということばが初めて英語で使われるようになったのは、1890年代である。1952年のアメリカ精神医学会発行の『精神障害の診断と分類の手引き』（DSM- I）では同性愛者は「病的性欲をともなった精神病質人格」と規定されていた。しかし、1973年に精神障害のリストから同性愛は除外され、1990年の「DSM- IV」では精神疾患のリストから同性愛は完全に消えた。また WHO の国際疾病分類「ICD-9」では「性的逸脱及び障害」の項に入れられていたが、1990年の「ICD-10」では、同性愛の分類は廃止され、1993年、WHO は「同性愛はいかなる

意味でも治療の対象にならない」との宣言をした。一方、多数のイスラム諸国では、2015年現在に至るも、同性愛を法律で禁じており、イランやサウジアラビアでは死刑に処せられる。(Wikipedia 2015年11月検索)

**gay** **ゲイ** **同性愛者** (とりわけ**男性同性愛者**) 同性を性的対象とする人、自分の性と性的対象が同一の人。この言葉が、同性愛者を表すようになったのは1920年代に「バラエティ」誌が使用したのが最初とされている。(「アメリカのゲイたち」中央公論社)。1950年代からアメリカで男性同性愛者の意味で広く使われるようになった。同性愛者が誇りを持って自称している。

**lesbian** **レズビアン** **女性同性愛者** 性的対象が同性の女性。古代のギリシャの女性詩人サッフォーの生地レスボス島の名前に拠っている。

**lesbianism** **レズビアニズム** 女性同性愛

**Sapphism** **女性同性愛** サッフォーに拠る。Sappho は女性同性愛者。

**heterosexuality** **ヘテロセクシュアリティ** **異性愛** 性愛の対象を異性とすること。同性愛に対応して創られた言葉。

**heterosexism** **異性愛者主義** 異性愛が正常で、その他は異常とする考え方

**heterosexual** **ヘテロセクシュアル** **異性愛者**

**straight** **ストレート** **異性愛者**

**bisexual** **バイセクシュアル** **両性愛** **両性愛者** 異性・同性の両方に性愛の対象をもつ人々。

**biphobia** **バイフォビア** **両性愛嫌悪** ゲイ・レズビアンのコミュニティーからも排除される場合がある。

**bi-bashing** **バイバッシング** 両性愛者いじめ。

**pansexual** **パンセクシュアル** **全性愛** すべてのセクシュアリティの人々に性愛の対象を持つ人。

**omni-sexual** **オムニセクシュアル** **全性愛** すべてのセクシュアリティの人々に性愛の対象を持つ人。

**asexuality** **エイセクシュアル、アセクシュアル** **無性愛** 他の人に恋愛感情や性的欲求をもっていないこと。心は男でも女でもない。

**nonsexual** **ノンセクシュアル** 「性行為や生殖行為に関わっていない状態」(Oxford English Dictionary 2010年)

**coming out** **カミングアウト** マイノリティーが自らの被差別を、他人の前で表明すること。ゲイの人々がゲイでない人々に対して、人間的な存在であることを示す運動。セクシュアル・マイノリティーばかりではなく、広く被差別者が使用するようになった。1960年代、ゲイ・ムーブメントから生まれた言葉。coming out of the closet (クローゼットから出るの意) か

ら来ている。

**second coming out** **セカンド カミングアウト** HIV 感染者の同性愛者が、そのことを公言すること

**partner** **パートナー** 異性あるいは同性の恋人、同伴者。

**gay bashing** **同性愛者いじめ (虐待)** 同性愛者であることを理由とする暴力的言動。偏見から生じる犯罪。アメリカの南部では殺害・暴行事件が続いている。日本でも2000年2月に東京都の夢の島で同性愛者殺人事件が起こっている。

**homophobia** **同性愛者嫌悪** 同性愛にたいする偏見にもとづく嫌悪感、恐怖感、憎悪。行動としての無視、差別、中傷、暴行、殺人。

**cruising ground** **発展場** ゲイの人々は社会の抑圧のために、非常に小さい場所で、性の相手を見つけざるを得なかった。そのために自然と創られた空間。

**same marriage, same-sex marriage, gay marriage, marriage of a couple of the same sex**

**同性結婚** 別に gender-neutral marriage (性別に中立な結婚) や equal marriage (平等結婚)」と表現される。男女の結婚と同じく、性的・社会的・経済的なパートナーであること。法的には男女の結婚と別枠の法律で、男女間の結婚と同じ権利を保障するパートナーシップ法と、結婚を「男女関係」から「両当事者関係」と包含する方法がある。1980年から今日までの多くの国は、当初、パートナーシップ法の制定でスタートし、ついで包含した法律に移行している国が多い。1989年、デンマークで世界初の登録パートナーシップ法が施行。デンマークのアクセル (Axel) とアクスギル (Eigil Axgil) が世界で初めて同性結婚を認められた。2001年にはオランダで世界初の同性婚法が施行。その後、2003年にベルギー、2005年にカナダとスペイン (スペインが可決した法律には、養子を迎えることが出来ることが明記され、また「夫・妻」が「配偶者」に、「父母」は「両親」に換えられた)、2006年に南アフリカ、2008年にノルウェー、2009年にスウェーデン、2010年にポルトガル、アイスランド、アルゼンチン、2012年にデンマーク、2013年にフランスとイギリス、ウルグアイ、ブラジル、ニュージーランドが、それぞれ同性婚法を成立させた。2015年6月26日にはアメリカ連邦最高裁判所が、同性婚を合憲とする判決を出した。日本でも2015年3月31日、東京都渋谷区議会が、「同性カップル条例」(同性同士をパートナーとして証明し、アパート入居や病院面会などで、夫婦同等に扱うよう求める) を制定した。

**partnership law** **パートナーシップ法** 男女の婚姻とは別枠の制度として、異性結婚の男女に認められる権利の全部、もしくは一部を同性カップルにも保証する法律。

**PACS : Le Pacte Civil de Solidarité** **パクス法** 連帯市民協約。1999年に制定されたフランスの法で、18歳以上の共同生活をするすべてのカップルに、婚姻に準じた権利を認めた。



<歴史>

**sodomy ソドミー** 男性同性愛者にたいする偏見を含んだ古い言葉。旧約聖書によれば、Sodom ソドムは、同性愛などのために Gomorrah ゴモラとともに神によって滅ぼされた都市の名前。ソドミー法は同性愛を法的に禁じ弾圧するもので、キリスト教世界の各国で施行され、同性愛者が弾圧された。アメリカでは2005年に連邦裁判所がアメリカに残存していたソドミー法を無効とする判決をした。

**sodomite ソドマイト** 男性同性愛者にたいする偏見を含んだ古い言葉。

**Mattachine Society マタシン協会** 1951年にロサンゼルスで設立されたアメリカ最初の同性愛者組織。1965年同協会がホワイトハウス前で行ったデモは、アメリカのゲイ運動の初のプロテストとなった。

**Daughters of Bilitis ビリティスの娘たち** 1955年にサンフランシスコで設立されたアメリカ初のレズビアン組織。

**Purple Purge 紫狩り** 1950年代の冷戦時代、アメリカでマッカーシー旋風によって赤狩り（共産主義者弾圧）が行われたが、それと並行してゲイに行なわれた弾圧。アメリカ国務省は共産主義者よりも多くの同性愛者を解雇した。ゲイ職員の弾圧が解かれたのは1975年。

**gay (rights) movement ゲイ (ライツ) ムーブメント 同性愛者の人権運動** ドイツのカール・ハインリヒ・ウルリヒスは1864年「男性間の愛の秘密を探る」を刊行した後、12巻まで刊行した。「胎児が成長する最も初期の局面では、生殖器は未分化である。」と主張した。その後1897年にドイツで科学的人道主義委員会が設立された。ついで、ベルリンに性科学研究所が1919年に設立され、国際的なゲイの情報センターとなった。第2次世界大戦後には1946年に、オランダ・ゲイ解放協会が組織された。アメリカでは1951年にマタシン協会、1955年にビリティスの娘たちが設立された。（『性的マイノリティーの基礎知識』より）

**Kinsey Reports キンゼイ報告** アメリカの性科学者アフレッド・キンゼイ Alfred Kinsey (1894-1956) が、1948年に発表した人間の性生活の報告書“Sexual Behavior in the Human Male”（邦題は「人間における男性の性行為」）また1953年刊の“Sexual Behavior in the Human Female”（邦題は「人間における女性の性行為」）。多数の人々の非異性愛行動を数値で発表した。キンゼイはこの世には明白な異性愛者、同性愛者はおらず、全ての人は、その中間のどこかに位置し、広大なグレーゾーンがあるとし（Kinsey Scale: キンゼイ・スケール キンゼイ指標）、大きな影響と波紋を呼んだ。1990年、キンゼイ性・ジェンダー生殖研究所は“The Kinsey Institute New Report On Sex”で、その後の性科学の成果を発表した。

**Oscar Wilde オскар・ワイルド** (1854~1900)。アイルランドのダブリン出身の詩人・作家・劇作家。代表作に詩劇『サロメ』などがある。イギリスのソドミー法により1895年同性愛の罪で投獄された。アメリカのニューヨーク市のGreenwich Village グリニッチ・ヴィレッジ

には、「オスカー・ワイルド書店」があった。同性愛者のための文学作品やノンフィクションを集めたアメリカ最初の書店であった。ゲイ・ムーブメントの先駆けやゲイ・パレードの開始にもかかわったが、2009年3月に閉店した。

**Nazism ナチズム** 第二次世界大戦中、ナチス支配下で1万～10万人のセクシュアル・マイノリティーの人々が強制収容所で虐殺された。同性愛者はピンク色の三角形がそのシンボルとされた。1970年代、ゲイムーブメントによって、この迫害の歴史が明らかとなった。1984年アムステルダムでバラ色の大理石の三角形のホモセクシュアル記念碑が建立された。(ヴァネッサ・ベアード『性的マイノリティーの基礎知識』作品社 2005年より)

**Communism 共産主義** 革命後のソビエトは、同性愛を治療すべき病気と見なし、1933年には男性間の同性愛を禁止し、国家にたいする犯罪とみなし、処罰として5年の重労働を課した。(『性的マイノリティーの基礎知識』より)

**gay power ゲイ・パワー** アフリカ系アメリカ人のブラック・パワーを転用したスローガンと運動。

**Gay is Good** 1968年にアメリカのゲイ運動が創造したスローガン。

**Stonewall Riot ストーンウォールの反乱** 1969年6月28日、ニューヨーク、グリニッジビレッジの一角クリストファー通 (Christopher Street) にある同性愛者が集うバーStonewall Inn ストーンウォール・インで3日3晩、警官の強制捜査に抗議した。この事件は「ゲイ革命」と呼ばれ、同性愛者の人権運動の起点となった。

**Harvey Milk ハーベイ・ミルク** (1930.5.22～1978. 11.27) サンフランシスコ市議。1977年、公表したゲイとして初の大都市公職者となった。同性愛者を理由に教職から解雇できる条例を廃案させた直後に市長とともに暗殺された。1999年に「タイム誌が選ぶ20世紀の100人の英雄」に選出されている。映画「ミルク (Milk)」(ガス・ヴァン・サント監督 2008年米) は、第81回アカデミー主演男優賞 (ショーン・ペン)、脚本賞を受賞した。アメリカのニューヨーク市の Greenwich Village にある Harvey Milk High School は1985年創設された同性愛者のための公立高校。

**gay parade ゲイ・パレード** 別に**プライド・パレード**、**プライド・マーチ**、**LGBTプライド・パレード**、**プライド・イベント**、**プライド・フェスティバル**ともいわれる。ストーンウォールの反乱が起こった翌1970年6月28日、ニューヨークで開催された「反乱1周年1970年記念デモ」Gay Pride March ゲイ・プライド・マーチが初。以後、世界各国でゲイ・パレードが展開されている。ギネス登録の記録は2009年に行われたブラジル・サンパウロでの320万人が参加した。日本では1994年8月28日に国際同性愛者連合日本支部が東京・新宿で「第1回東京レズビアン・ゲイ・パレード」を主催した。2015年4月には東京レインボープライドのパレードとフェスタが行われ、2日間で55,000人が参加した。2015年現在、東京のほかに札幌・

大阪などでも開催されている。

**PWH・PWA : Person With HIV (human immunodeficiency virus) ヒト免疫不全ウイルス感染者。Person With AIDS (acquired immune deficiency syndrome 後天性免疫不全症候群) エイズ発症者** HIVは多く性行為によって感染し、長い潜伏期間をへてエイズ AIDS を発症する。エイズは異性愛者によってもセクシュアル・マイノリティーによっても感染する。1980年代に HIV がゲイの間で広がったことから、PWH・PWA と同性愛者が同一視され差別された。

**red ribbon レッドリボン** 米国から出発。薬物乱用の防止、AIDS に対する戦いを象徴。「多くの場合、HIV/AIDS と共に生きる人々に対し、偏見を持たず、差別せず、理解し、支援するための世界的な社会運動を象徴している。」(Wikipedia2015年11月検索)

**Rainbow Parade レインボー・パレード** LGBTIQ を包含するパレード。

**Gay Games ゲイ・ゲームズ** 「ゲイゲームズ連盟 (GGF) によって夏季オリンピックの中間年に開催される同性愛者を対象にした競技大会」。Gay Olympic Games が1982年8月28日～9月5日にサンフランシスコの Kezar Stadium で開催された。「当初はゲイオリンピックの名称の予定だったが、国際オリンピック委員会」などが使用を禁じたために、この名称となった (Wikipedia2015.11.30検索)。この用語はゲイの人々がスポーツで競ったり、ワークショップ、パーティー、コンサートなどのお祭り企画としても使用されている。

#### <学園>

**sexual studies 同性愛研究** 1970年代に登場した人文・社会科学の性についての研究。

**gay and lesbian studies 同性愛研究** 1980年代初頭に登場したアメリカの大学での同性愛についての研究分野・教科名。

**GLSEN : Gay, Lesbian, and Straight Education Network** アメリカのゲイとレズビアンと異性愛者をつなぐネットワーク。セクシュアリティにもとづく差別や虐待・いじめをなくすために、ゲイとレズビアンの教員によって1990年に創建された。幼稚園から高校までを対象とした全米組織。本部は NY とワシントン DC にある。(Wikipedia2015年11月検索)

**Student Safety and Violence Prevention Act 学生の安全と暴力防止の法律** アメリカ・カリフォルニア州法で、学校内のセクシュアリティにもとづく差別から学生を守ることを義務づけた法律。2000年に成立。

**It Gets Better Project イット・ゲッツ・ベター・プロジェクト** アメリカの LGBT 支援 NPO 団体 “The Trevor Project” において、LGBT ユースを自殺から救うために生まれたプロジェクト。有名企業や地方警察、有名人や政治家などが5～10分程度の動画を作成し配信するというもの。オバマ大統領やレディー・ガガも参加している。(執筆: 瀬尾太歩人)

**GSA : Gay and Straight Alliance** **ゲイ・ストレート同盟** アメリカの学校における LGBTIQ とストレートの生徒が協同してセクシュアル・マイノリティーの理解を進める全米組織のクラブ活動。アメリカ連邦裁判所によって法的に認められている。

**Day of Silence** **沈黙の日** 1996年、アメリカのバージニア大学の学生が始めた。セクシュアル・マイノリティーへの差別と虐待に、「目に見える沈黙」をもって反対する運動。一日中、あるいは一定時間、特別に沈黙する。2008年にはアメリカの8000の学園、10万人が参加した。これまでは4月半ばに行われている。GLSEN が行う組織活動。

**Gay Pride Week (Month)** **ゲイ・プライド週間 (月間)** アメリカで始まった、学園で1週間 (月) にわたって行われるゲイについての認識を広めるキャンペーン。

### <現代の運動>

**GLAAD : Gay & Lesbian Alliance Against Defamation** **中傷と闘うゲイ&レズビアン同盟** メディアにいるセクシュアル・マイノリティーの人々が1985年に創建した全米メディア・チェック組織。創立当初は Gay and lesbian anti-defamation league であった。NY とロサンゼルスに事務局がある。(Wikipedia2015年11月検索)

**ENDA : Employment Non-Discrimination Act** **雇用差別禁止法** セクシュアリティーによる採用や職場の差別をなくすためのアメリカの法律。2013年に成立。

**ILGA International Lesbian, Gay, Bisexual, Trans and Intersex Association** **国際レズビアン・ゲイ協会** 世界的なレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、インターセックスの組織。1978年創立。当初は **International Gay Association (IGA)** であったが1986年に現在の名前に改称した。2015年現在、110ヵ国1100組織を擁している。

**IGLHRC ; International Gay and Lesbian Human Rights Commission** **国際ゲイ・レズビアン人権委員会** 1990年にセクシュアル・マイノリティーとエイズ感染者・発症者の人権擁護のために、国際 NGO 組織として発足した。本部はニューヨークにある。サテライト事務局をブエノスアイレス、ヨハネスブルグ、マニラに置いている。

## 3. トランス・ジェンダー (セクシュアル)

**sexual identity** **セクシュアル・アイデンティティ** **性的同一性** セクシュアリティーについての自認。自分の身体の性と性自認の性が異なることが、性同一性障害である。

**GI ; gender identity** **性自認** 自身を男性・女性、どちらでもないなどと自身の性についてとらえること。性自認は先天的なものによって決定されている。

**GID ; gender identity disorder** **性同一性障害** その人自身の心の性と身体の性の不一致に

よって起こる。胎児期に脳が形成される時、男性・女性ホルモンの量などによって「男性の脳」「女性の脳」「その他の脳」に分かれ決定される。日本では1996年に埼玉医科大倫理委員会が「性転換手術を医療として容認する」と答申した。翌1997年に日本精神神経学会が「性転換手術は『性同一性障害』の治療に当たる」との指針を出した。

日本では2003年に「性同一性障害者の性別の取り扱いの特例に関する法律」（性同一性障害特例法）が成立し、翌2004年7月16日に施行され、性自認にもとづく性への移行が戸籍上認められた。また2008年には法改正され、自身の子どもが成人すれば性別変更できるとした。この法にはこの性的位置にある人々を「障害」ととらえていること、また「特例」で性の移動を認めるという不寛容さが見られる。

**trans-sexualism 性同一性障害**

**gender dysphoria 性別違和** 2014年11月、日本精神神経学会は、米精神医学会の診断の手引DSMの診断名の訳語を『性同一性障害』から『性別違和』に改めた。日本精神神経学会は現在も性同一性障害という診断名を使用している。現代日本で、「性的違和症候群」は「治療も望まないが、自身の性別に対して多少の違和感を覚えている患者が、医師に対して診断書を要求した場合、記される病名」のこと（(Wikipedia2015.11.30検索）。

**TG ; transgender トランスジェンダー** 身体の性と心の性との間に食い違いがある。周囲から押しつけられる性役割とは異なる性別の性自認をもち、その性別で生活したい人。

**X ジェンダー** 男性、女性のいずれでもないこと。和製英語

**transgenderism トランスジェンダリズム** 性別不快症候群

**TS ; transsexual トランスセクシュアル** 心の性に異なる身体の性を手術によって合わせた（ようとする）人々。

**transphobia トランスフォビア トランスジェンダー嫌悪** トランスジェンダーの人にたいする嫌悪感、恐怖感、憎悪、それに基づく無視、差別、中傷、暴行、放火、殺人。

**SRS ; sex reassignment surgery 性別適合手術 性別再指定手術 また GRS ; gender reassignment surgery** ともいう。心の性に体の性を合わせるための手術。戸籍上男性の3人に性的適合手術を行った産婦人科医師が1969年、有罪の判決を受けたブルーボーイ事件が有名（ブルーボーイはその当時の「男娼」のこと）。日本では、1996年7月埼玉医科大学倫理委員会が、「体の方を変えて悩みを和らげるのは正当」との答申を出し、日本精神神経学会も翌年、ガイドラインを出し、1998年10月に埼玉医科大学で初手術が行われた。「性転換手術」と言われるが、性同一性障害者にとっては、誤った身体を修正し本来の性別を獲得するために必要な手術と考えられるため、性転換とは言わない。最近では、正式には性別適合手術と言われ、他に性別再指定手術、性別再判定手術という。

**sex change operation, change of sex surgery 性転換手術** かつて、このように呼称されて

いたが、今日では、“sex reassignment surgery”（略称 SRS 「性別適合手術」）が正式名称となった。

**FtM ; female to male** 女性から男性への性転換者、あるいはそれを望む人 F2M とも表記される。性的指向は男性、女性、両性などがある。

**MtF ; male to female** 男性から女性への性転換者、あるいはそれを望む人 M2F とも表記される。性的指向は男性、女性、両性などがある。

**TV ; transvestite** 異性装者 **トランスベスタイト** 自身の身体の性と異なる服装をする人。男装子、女装子。異性装に向かうことを、transvestism という。異性装者はこの言葉が、服装性倒錯というネガティブなイメージを持っているので、クロスドレッサーを創った。

**CD ; cross dresser** クロスドレッサー 異性装者 服飾の全て、または部分を「異性」のそれに合わせること。異性装者が生み出した自らへの呼称。

**DQ ; drag queen** ドラッグクイーン drag には引きずるという意味があり、ドレスの裾をひきずるほど大げさな女性装をするゲイを意味する。極度に誇張したパフォーマンス。薬物のドラッグと混同しないように「ドラッグ」と表記することもある。「ドラッグクイーンは女装の男性。近年、セクシュアリティーに関係なく、自らの好む服装でパフォーマンスをする人を総称するようになってきた。（執筆：瀬尾太歩人）

**DK ; drag king** ドラッグキング 男装の女性。

**new half** ニューハーフ 心の性と体の性とが異なり、女性として生きる人々にたいする1981年頃からの和製英語。英語の half には「半分しかない」という否定性が含まれる。海外ではほとんど使用されていない。

#### 4. 性分化疾患など

**DSDs ; disorders of sex development** 性分化疾患 「染色体、生殖腺、もしくは解剖学的に性の発達が先天的に非定型である状態」を指す医学用語。英語では DSD と略されることが多い。「男でも女でもない」「中性」「第三の性」ではない。大山健司・日本小児内分泌学会性分化委員会委員長（2009.11.27毎日朝刊）によれば、「人の性別は、染色体の性、性腺（卵巣、精巣）の性、性器の性、社会的（戸籍の）性、脳の性などから成り立ち、それが一致しない」ことを性分化疾患という。「性分化疾患」は総称で、この中には、性染色体では XX、あるいは XY 型であるもので、①アンドロゲン不応症（精巣性女性化症候群 AIS）、②先天性副腎皮質過形成（CAH）、③卵精巣性性分化疾患がある、ついで、性染色体では XX、あるいは XY 型でないものとして、④クラインフェルター症候群、⑤ターナー症候群など、身体的性別に関する様々なレベルでの、約60種類以上の症候群・疾患群を包括し、2000人に1

人といわれている。

2009年10月、日本小児内分泌学会は従来、半陰陽、両性具有、「性分化異常症」「性発達障害」などと呼ばれ蔑称の印象がある言葉を、性分化疾患に統一した。出生時の性別の判別が難しい状態を指して半陰陽 (hermaphrodite)、インターセックスという言葉もよく用いられていたが、名称と実態が合っていないこともあり現在ではあまり使用されなくなっている。日本生命倫理学会初代会長の星野一正・京都大学名誉教授は2009年に、「研究の進歩によって、ヒトを男女に二分して性別を正確に決定する基準を設定しようとする事自体が不可能に近いことが分かってきた」「男か女かのいずれかの性別のみを記録することを義務づけている現行の法律は即刻改正すべきだ」と主張している。(2009.10.8 毎日朝刊)

**IS ; intersex インターセックスの人々 半陰陽・両性具有** 出生時に男女の判定がつけにくい状態から生まれた言葉であるが、名称と実態があっていないことから現在、使用されなくなった。

**hermaphrodite 真正半陰陽の人** (人は精巣と卵巣のどちらにもなる可能性をもつ性腺と、男性または女性に発育する二対の導管をもっている。多数の男女は二個の精巣かまたは二個の卵巣をもつにいたる)。真正半陰陽は一個の精巣と一個の卵巣、または片側卵精巣か両側卵精巣の場合がある。性染色体では、46XX 核型、46XX/46 モザイク核型、46XY 核型で、片側卵巣で片側精巣、内性器では子宮と卵管が存在し、前立腺も存在する場合がある。性自認・性的指向は個人差がある。この言葉は蔑視的であるとして医学・医療では用いられなくなっている。

**AIS ; androgen insensitivity syndrome アンドロゲン不応症** 遺伝子上は男性で、精巣は存在するが、外性器が女性のそれのようであること。アンドロゲン (男性ホルモン) が分泌しないか、細胞が男性ホルモンに反応しなくて外性器が女性化した。外見も性自認も女性である。受容体がすべて働かない完全アンドロゲン不応症 (CAIS) と、一部のみ働かない部分アンドロゲン不応症 (PIAS) とがある。PIASは「心身共に性別があいまいになる」。「全く機能しない『完全型』は外見上女性のため出生時に気づかず、生理が来ないことなどを機に染色体が男性型であると知る人も多い。」(2009年10月6日毎日新聞) アンドロゲン不応症は精巣 (性) 女性化症候群 (testicular feminization syndrome)、睾丸 (性) 女性化症ともよばれるが、現在、当事者の要望があり、これらの言葉は使われない。

**pseudo hermaphroditism 仮性半陰陽** 遺伝子上は男性あるいは女性で、性腺 (精巣・卵巣) は遺伝子と同一であるが、外性器が異性のそれのようであること。男性遺伝子の場合、男性ホルモンが分泌しないか、細胞が男性ホルモンに反応しなくて外性器が女性化したり、女性遺伝子の場合、男性ホルモンの影響で外性器の男性化が起こる場合がある。この言葉は蔑視的であるとして医学・医療では用いられなくなっている。

**CAH ; congenital adrenal hyperplasia 先天性副腎皮質過形成症** 女性仮性半陰陽の一つのタイプ。女性遺伝子で副腎が大きく、ステロイドホルモンやアンドロゲンの分泌が多くなって、外性器の男性化が起こる。「肥大したクリトリスと癒着した陰唇に分化している。誕生時には男性と誤認する場合がある。月経などの女性化は微弱で男性化が発現する。性自認や性的指向は個人差がある。日本での先天性副腎皮質過形成症の発生は1万5千人に1人であることが分かった。」(毎日新聞2010.1.11では1万8千人に1人)

**Klinefelter's syndrome クラインフェルター症候群** 男性の性染色体のXが一つ以上多いことで生じる。XXY型・XXXY型などがある。男児750人に1人の割合とされている。「普通の男性と全く変わりなく生活できる人や、さまざまな病気を抱えている人、女性的な身体特徴が著しい人など、男性性自認を得られない人、また性的指向が男性に向いている人もいる。その症状はさまざまである。」

**Turner syndrome ターナー症候群** 女性の性染色体で多数の女性が46XX型であるが、ターナー症候群ではX染色体を一つ(すべて又は部分)を欠いている45X0型タイプ。2500~4000人に1人の女性に現れる。女性で最も多い性染色体的疾患。卵巣を欠いており、卵子や女性ホルモンを生産する事が出来ず、低身長と二次性徴がなくなる症状がある。

**UDT ; undescended testicle, undescended testis 停留精巣, cryptorchidism** とも。「発育に伴って腹部より鼠蹊部を通して陰嚢内に下降するべき精巣が何らかの原因で途中にとどまる状態をいう。」(『医学略語辞典第5版』) 男子の先天性の疾患の中でもっとも頻度が高く、男子100人のうち3人ぐらいに認められ、出生後の手当てや手術で治療されている。

**Rokitansky-Kuster-Hausen syndrome ロキタンスキー症候群** 「先天的に女性の膣の一部、または全部が欠損した膣欠損症の一種で、その中で最も頻度の高いもので、約5000人に1人の割合で発症する」と言われている。染色体、卵巣、女性ホルモン、外陰部、第二次性徴は正常で、「幼少期~思春期頃までは発見されないケースがほとんど」と言われている。(Medi Bridge 2015.11検索)

**gynatresia 外陰閉鎖 鎖陰** 膣などが閉鎖された状況。「膣閉鎖(症)多くは先天的に、膣口が閉鎖した状態。非穿孔性処女膜のために自覚症状がなく、初経まで気づかれないことが多い。月経が始まると、月経血は排出されず膣留血症、子宮留血症を起こす。治療は手術による処女膜切開を行う。」(『看護医学事典第7版』より)

**androgynous アンドロジナス** 「典型的な男性と女性の特徴を、さまざまな形で併合する人をさす」「一見(何度見ても)男性か女性か分からない」人。(『LGBTQってなに?』より)

**gender-bender ジェンダーバンダー** 「典型的な男性と女性の特徴を、さまざまな形で併合する人をさす」(『LGBTQってなに?』より)

**gender-blender ジェンダーブレンダー** 「典型的な男性と女性の特徴を、さまざまな形で併



合する人をさす」。ジェンダーを混合する人。（『LGBTQってなに?』より）

**third gender 第三の性** 男女以外の性。世界的に男女二分の思考ではなく、第三の性を考えた民族が少なからず存在する。アメリカ先住民族のナバホ民族ではナドゥル、別の民族ではベルダーシュ、インドではヒジュラ、パプア・ニューギニア東部高地のサンピア民族ではクウォル・アトムウォル、フィリピンではセブ人のパヨットやラキン・オン、インドネシアではワリア、タヒチ島ではマフなどが知られている（『性的マイノリティーの基礎知識』より）。2014年4月15日、インドの最高裁は第三の性を認める判決を出した。また同年5月7日、オーストラリアの最高裁も同様の判決を出した。また、2014年7月16日にドイツでは出生証明書に「不確定」の選択を導入することを決定した。2015年8月にネパール政府は男性でも女性でもない「○」表示のパスポートを発行した。

**two spirit people ツースピリット** 「多くのアメリカ先住民のある文化では、トランスジェンダーの人は『ツースピリット（二つの魂をもった人）』と呼ばれる。彼らはひとつの性で生まれてきたが、両方の性役割（その定義は文化によってちがう）を果たすようになる。今日、トランスジェンダーの一部の人の中には、自分を『ツースピリット』と呼ぶ人もいる。」（『LGBTってなに?』より）

**Hijra / Hijira ヒジュラー** インド北部のトランスジェンダーの人々で、一つのカーストにされている。「インドの『第三の性』と呼ばれるグループに属する人。MtF トランス、インターセクシュアル、思春期後半に去勢をした人など多種多様。」（『性的マイノリティーの基礎知識』より）。2000年に去勢した男性が代議士に当選している。

**Aravani アラパニ** インド南部の「第三の性」と言われている人々（多くは体は男性で心は女性）。タミルナド州政府は、2007年から第三の性を認め、生活支援を始めた。学校に男女のトイレとは別のトイレを市内のすべての学校に指示した。身分証明書にはM（男）F（女）とは別にT（テルナンゲ、タミル語で1より多い、男と女の両方を意味する）を記す。（2008年7月18日朝日朝刊）

**Berdache ベルダーシュ** 南北アメリカ先住民族社会の男性同性愛者は、フランス語で「奴隷の少年」にあたるベルダーシュと呼ばれる。この名前は押し付けられた隷属的な名前で、現在は「二つの魂を持つ者」（two spirits）や「男-女」（man-woman）という用語を好み、使用する者がいる」（『性的マイノリティーの基礎知識』より）

**Mahu マフー 去勢した男性** ハワイ島などポリネシアに生きる第三の性の人々。男女両性の特別な存在で、「家族を守り、伝統文化を伝え、癒しの力を持つ」（『性的マイノリティーの基礎知識』より）

**eunuch ユーニック** 去勢した男性。古くは宦官（かんばん）と言って、去勢された役人のことを言った。（松田健）

**chimera キメラ** 同一の個体のなかに、異なった遺伝情報が混在していること。たとえば内性器に精巣と卵巣が併存していること。XXの女性染色体と同時に別の細胞では、XYの染色体を同時にもっていること。

**sexual deviation 性的逸脱** 性的逸脱について山本直英が『セクシュアル・ライツ』（明石書店 1997年）で挙げている中で性の対象によるものは、①小児性愛（ペドフィリア pedophilia）②老人性愛（gerontophilia ジェロントフィリア）③動物性愛（zoophilia ズーフィリア）④屍体性愛（necrophilia ネクロフィリア）⑤拝物愛（fetishism フェチズム）⑥近親姦（incest インセスト）⑦自己性愛（narcissism ナルシズム）、性的手段によるものは、①加虐性愛（sadism サディズム）②被虐性愛（masochism マゾヒズム）③窃視症（voyeurism ボワイヤイズム）④露出症（exhibitionism エクシビションイズム）を挙げている。

## あとがき

本文の作成にあたって、資料収集にご協力くださった関西外国語大学図書館の方々、大阪市立中央図書館の方々にお礼を申し上げます。また文章内容につきましては碩学の本学外国語学部教授（社会学）の松田健先生と、ネイティブの立場から同学部準教授のS.R.Shrader先生に、幾度も深く、実に丁寧に見ていただきました。厚く御礼を申し上げます。

また関西外国語大学2015年卒業の瀬尾太夫人さんにも見て頂き、新しい項目を執筆して頂きました。瀬尾太夫人さんは2014年夏アメリカへ、セクシュアル・マイノリティー研修旅行に行かれました。また、その秋、私の授業で学友の前でカミングアウトをしてくださり、セクシュアル・マイノリティー差別についての話をしてくださいました。また瀬尾太夫人さんは本学初のセクシュアル・マイノリティーの公認組織のクラブを結成するために努力されました。本文がそれなりに活字化されるのは、瀬尾太夫人さんの勇気に深く影響されています。深く御礼を申し上げます。

私は英語の世界は無知で、たくさんの過誤があると思います。どうぞご指摘ください。この拙稿を後に続いて下さるセクシュアル・マイノリティーの辞典の踏み台のひとつにさせていただければ、望外の幸せです。

2015年10月29日 執筆者

参考図書・資料

- 浅井春夫『セクシュアル・ライツ入門～子どもの性的人権と性教育のための20章』10月舎 2000年
- 石田名香雄編集代表『研究社医学英和辞典（縮刷版）』研究社 2002年
- 伊藤悟・虎井まさ衛編著『多様な『性』が分かる本』高文研 2002年
- 伊藤悟・大江千草・小川葉子・石川大我・築瀬竜太・大月純子・新井敏行『同性愛って何?』緑風出版  
2002年
- 井部俊子・箕輪良行監修『看護医学事典第7版』医学書院 2014年
- 遠藤和士・ひびのまこと『知っていますか?同性愛ってなに一問一答』解放出版社 2004年
- 関修・木谷麦子編『知った気であるあなたのための セクシュアリティ入門』夏目書房 1999年
- セクシュアル・マイノリティー教職員ネットワーク編『セクシュアル・マイノリティー第2版』明石書店  
2006年
- 谷谷規子『性同一性障害 3・11を超えて』論創社 2012年
- 虎井まさ衛『語り継ぐトランスジェンダー史』10月舎 2003年
- 野宮亜紀・針間克己・大島俊之・原科孝雄・虎井まさ衛・内島豊『性同一性障害って何?』緑風出版  
2003年
- 橋本信也監修『医学略語辞典第5版』中央法規出版 2010年
- 橋本秀雄『男でも女でもない性・完全版——インターセックス（半陰陽）を生きる』青弓社 2004年
- 針間克己『一人ひとりの性を大切に生きて生きる～インターセックス、性同一性障害、同性愛、性暴力から  
の視点』少年写真新聞社 2003年
- 宮淑子『セクシュアリティ・スタディーズ』新水社 2010年
- 村瀬幸浩『21世紀性と性教育のゆくえ』大月書店 1998年
- 薬師実芳・笹原千奈未・小川奈津己『LGBTってなんだろう』合同出版 2014年
- 山本直英『人類最後の人権 セクシュアル・ライツ』明石書店 1997年
- ジャック・アンドレ『100語でわかるセクシュアリティ―』
- 古橋忠晃・守谷てるみ訳 白水社 2013年
- デニス・アルトマン『ゲイ・アイデンティティー——抑圧と解放』岡島克樹・河口和也・風間孝訳 岩波  
書店 2010年
- ヴァネッサ・ベアード『性的マイノリティーの基礎知識』野口哲生訳 作品社 2005年
- アラン・ブレイ『同性愛の社会史』田口孝夫・山本雅男訳 彩流社 2013年
- ジョージ・チェンシー『同性婚——ゲイの権利をめぐるアメリカの現代史』上杉富之・村上隆則共訳 明  
石書店 2006年
- デイヴィッド・M・ハルプリン『同性愛の百年間——ギリシア的愛について』石塚浩司訳 法政大学出版  
局 1995年

セクシュアル・マイノリティについての人権英語小辞典

ケリー・ヒューゲル『LGBTQってなに?』上田勢子訳 明石書店 2011年

ロバート・オールドリッチ『同性愛の歴史』田中英史・田口孝夫訳、東洋書林 2009年

J.M. ライニッシュ+R.ビーズリー『最新キンゼイレポート』小曾戸明子・宮原忍ら訳 小学館 1991年

各種の英和辞典、英々辞典

1992年～2015年までの新聞各紙

なお“Wikipedia”から多く学ばせていただきました。心より御礼を申し上げます。

(かとう・まさひこ 人権教育思想研究所教授)